



●練馬の囃子

現在、練馬区内で活動している囃子は 15 団体あり、すべて江戸の祭囃子の系譜を引く囃子です。

祭囃子とは、神社の祭礼における練り行列の山車(だし)や屋台などで演奏する囃子のことです。

現在も区内各地にある神社の祭礼で、屋台に乗って神輿行列を先導したり、境内の舞台上で演じるなどし、大いに祭りを盛り上げています。

今回は、練馬区無形民俗文化財に登録されている 4 団体が出演します。それぞれに異なる曲調や構成をお楽しみください。また、寿獅子などの付随芸能も披露いたします。

●説経浄瑠璃 三代目若松若太夫

【東京都指定無形文化財／板橋区登録無形文化財】

大学在学中に先代の二代目若松若太夫の公演を聴き、感銘を受けて入門、1998 年に三代目若松若太夫を襲名しました。現在は、板橋区を拠点に説経節の伝承に努めています。また、人形芝居の地語りとしても、様々な公演で活躍しています。

説経浄瑠璃は説経節とも呼ばれ、三味線を弾きながら中世のころから伝わる哀切に満ちた物語を語る伝統芸能で、鎌倉時代に僧侶が庶民に經典の教義を説いた「説経」をルーツに芸能化したとされています。



●八王子車人形「西川古柳座」

【国選択無形民俗文化財／東京都指定無形文化財】

車人形は江戸時代の終わり頃に初代西川古柳(山岸柳吉)が考案した特殊な一人遣いの人形芝居で、もとは祭礼などで上演される農村の娯楽でした。遣い手が、「ろくろ車」という前に 2 つ、後ろに 1 つ車輪がついた箱形の車に腰掛けて、人形を操作することから名づけられました。

現在、西川古柳の名跡は五代目に受け継がれ、古典から新作まで幅広い作品を上演し、国内のみならず、海外でも活躍しています。また、子ども達への指導など後進の育成にも力を注いでいます。

●会場「生涯学習センター」へのアクセス

西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線
「練馬」駅下車 徒歩 10 分

※ お車でのご来館はご遠慮ください。

●問合せ

文化・生涯学習課 伝統文化係
(練馬区役所 本庁舎 8 階)

TEL : 03-5984-2442

※ 公演当日は会場 (03-3991-1667) に直接お問い合わせください。

